

## 令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サイクリストに優しい遠山郷(JR飯田線活用輪行促進)
事業主体 (連絡先)	遠山郷観光協会 (0260-34-1071)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	750,916 円

## 事業内容

地域振興のみならず環境面を加味し、JR飯田線を利用した広域的な輪行サイクルの推進・利用拡大を目指した。紅葉の時期10月に「遠山郷自転車の日」と題して輪行×サイクリング×セミナーを合わせたイベントを実施した。

自転車上級者が主流の当地域で、初、中級者への裾野拡大のため、プロモーションビデオ制作・電動アシスト自転車の購入・スタンプラリーの作成を行った。



【自転車講習会の様子】

## 【目標・ねらい】

- ①地域振興のみならず環境面を加味した、JR飯田線を使った輪行サイクリストの利用促進。
- ②自転車上級者のみならず初、中級者への利用者の裾野拡大。
- ③サイクリストに優しい遠山郷を目指した利便性の改善。

## 事業効果

①10月の紅葉の時期に輪行サイクルイベントを実施した。2日間で延べ36名の参加があり、サイクリストと一般を合わせたセミナーも行い好評だった。

②イベントに合わせ、初、中級の参加を募るため電動アシスト自転車を購入した。2020年からは案内所での一般貸出を予定している。また、ドローンを用いたプロモーションビデオを制作しYoutube等で公開していく。春からはサイクリスト向けのスタンプラリーを開始する。合わせて、輪行に重点を置いたチラシの作成も行った。

③地域内の木製自転車ラックの補修を行い、ロードバイクのサイクリストに対して利便性の改善を行った。

## ※自己評価【 B 】

【理由】 予定していたイベントの実施が2回から1回になったものの、参加者には充分満足していただけるイベントとなった。拠点施設の営業休止やコロナ肺炎の影響を受け、効果については今後に期待をする。

## 今後の取り組み

数年来の取り組みの効果もあり、少しずつ個人・グループでのサイクリストが散見されるようになってきた。来訪は多くなってきたものの、拠点施設での軽食営業の休止、不定休日の設定・道の駅遠山郷の営業休止など、受け入れ態勢に課題が出てきた。よって、受け入れ態勢の安定化、強化を最優先とする。

大イベントの開催というよりは、個人・グループで自転車を楽しんでいただくための体制を整えながら、電動アシスト自転車や輪行、サイクリスト向けのスタンプラリーを利用した誘客で裾野を拡げていく。